

2024年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページ（http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

地域貢献の取り組みとして「夕涼み会」や育児相談、体験保育などを実施し、地域の子育て家庭への支援を行っています

保育の専門性を生かした地域貢献の取り組みとして、「パートナー保育登録」に基づく育児相談を行っています。また、「夕涼み会」や「ファミリースポーツデー」、一時保育、体験保育などを実施し、地域の子育て家庭を支援しています。地域の自治会が主催する行事への参加では、子どもたちが地域の人々と交流し、いろいろな体験をしています。地域との関係作りにおいては、地元の中学校と連携し、職場体験の受け入れを定期的に行っています。また、地域の図書館や消防署では、多くの仕事があることを学んでいます。

子どもの発達に応じて興味や関心が広がることを大切にし、保育室にコーナーを設置するなど保育方法や環境の設定を工夫しています

保育においては、子どもの発達に応じて、興味や関心が広がることを大切にしています。また、子どもたちが興味や関心を持っていることを把握し、保育方法や環境の設定を工夫しています。保育室には、社会、体育、モンテッソーリ、造形、コンピューターなどのコーナーを設置し、子どもが自分で選んだコーナーで、好きな遊びに意欲的に取り組めるようにしています。散歩に出かける時は、行き先を子どもに聞いてから決めています。異年齢の活動では、年下の子どもを面倒をみる、年上の子ども遊び方を真似ることなどを通して、成長する姿が見られます。

行事の内容及び趣旨、運営方法を保護者に説明し、保護者参加の機会をより多く設けることで、行事への理解と協力を得よう努めています

行事の開催にあたっては、保護者に行事の内容及び趣旨、運営方法などを説明し、行事への理解と協力を得よう努めています。行事内容においては、保護者が参加する機会をより多く設け、親子で楽しむことができるようにしています。餅つきでは、保護者に餅をついてもらい、みんなで餅作りを楽しんでいます。作品展では、保護者のブースを設け、保護者が製作した編み物や絵画などを展示しています。ファミリースポーツデーでは、朝の準備の手伝いをしてもらうとともに、保護者参加の競技などにおいて、保護者の協力を得ています。

さらなる取り組みが期待される点

単年度の事業計画に関しては、中長期計画に明示された重点目標の達成に向けて、実施方策及びスケジュールを設定することが望まれます

単年度の事業計画には、各年度の運営方針、保育活動の内容、運営管理体制、職員体制などを記載しています。また、中長期計画として、保育、職員、施設設備に関する実施事項を明示しています。中長期計画に関しては、別紙に作成し、園全体のビジョンや重点目標を明示することが望まれます。単年度の事業計画においては、中長期計画の重点目標を達成するための、各年度における具体的な実施方策及びスケジュールを設定することが期待されます。単年度事業計画の策定段階では、主任及び副主任を中心に職員が参画するとよいでしょう。

個人別育成においては、各職員の担当業務における課題を明確にし、課題解決に向けた実施方策を具体的に設定することが期待されます

キャリアパス及び「業績評価制度」に基づいて、園全体の人材育成を推進しています。職員の個人別育成においては、「業務目標・成果シート」に各職員の業務目標やチャレンジ目標などを記し、「業務評価シート」を基に課題への対応などを評価しています。個人別育成においては、各職員の担当業務における課題及び目標を明確にし、達成に向けた実施方策を具体的に設定することが期待されます。また、キャリアパスや業績評価制度の趣旨、業務目標・成果シートの活用について、職員の理解が深まるようにされるとよいでしょう。

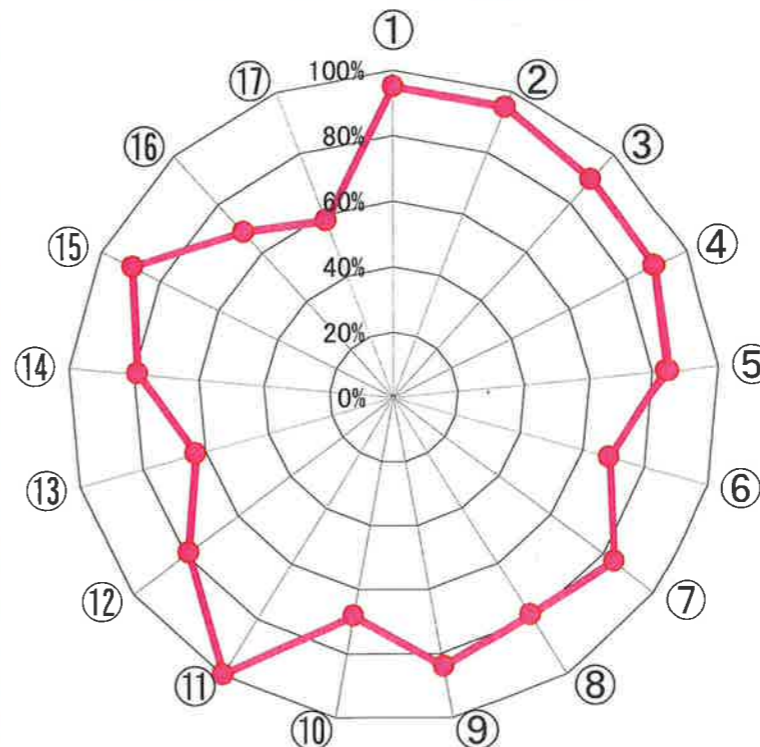
BCPの改訂にあたっては、保育現場において想定されるリスクを整理し、リスク発生時の初動対応を中心に検討するとよいでしょう

「防災の手引き」「自衛消防計画」などを基に、非常災害時の安全確保対策を整備しています。また、事業継続計画（BCP）を作成し、園全体のリスクマネジメントを推進しています。BCPには、リスク発生時の初動対応、復旧までの対応策などを明示しています。園では、BCPを見直し、園の実態に合致した内容に改訂することを検討されています。改訂にあたっては、現行の各種マニュアルを基に想定されるリスクを整理し、保育現場における初動対応を中心に検討するとよいでしょう。また、BCPに基づく対応訓練を実施することが期待されます。

利用者アンケート結果概要

実施期間：2024年7月24日(水)～2024年8月7日(水) 回収率：43.2%

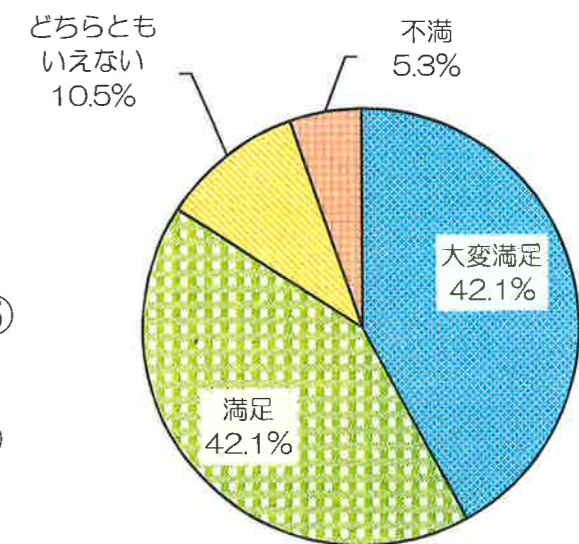
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳しい内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

日々お忙しい中、利用者アンケートにご協力頂き誠に保護者の皆様、誠にありがとうございます。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

